



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クレヴィスタ横浜II新築工事	階数	地上10F
建設地	横浜市神奈川区栄町22-10	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	190人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年4月22日
敷地面積	990㎡	作成者	株式会社インヴァランス 井上 幸祐
建築面積	612㎡	確認日	2022年4月22日
延床面積	5,450㎡	確認者	株式会社インヴァランス 井上 幸祐

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 開口部の遮音性能はT-2仕様を採用している。 内装仕上材は、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q2 サービス性能 維持管理や、仕上材の耐用年数に配慮した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 夜間照明の設置、防犯カメラの設置などを行い、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 壁・天井の大部分でLGS下地を使用することで、躯体と仕上げ材を容易に分別可能とし、また内装材と設備が錯綜しないよう配慮している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の一部を満たしており、また広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

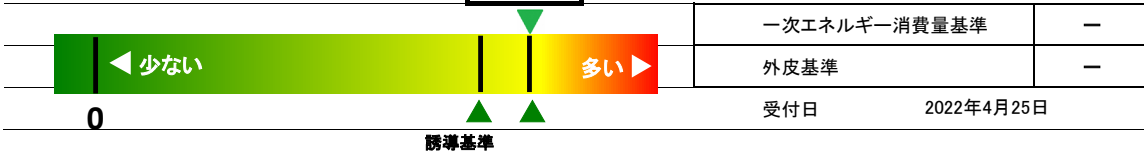
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)クレヴィスタ横浜Ⅱ

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 1

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **1** %増加



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

住戸の過半が等級4相当

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

外壁仕上材の補修必要間隔について、30年以上とする。(タイル貼)

主要内装仕上げ材の更新必要間隔について、16年以上~25年未満とする。(ビニールクロス貼り、GL工法)

空調・給排水配管の更新必要間隔について、主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 4-007



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)クレヴィスタ横浜II

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		

